

## 傾聴ボランティア通信



街角や公園にウインターイルミネーションが輝く季節になりました。長い冬の始まりです。  
 コロナ禍の生活は3年目が終わろうとしています。  
 施設訪問ができない日々が続きますが、会員の皆さんはいろいろな工夫して活動されておられるようです。  
 野原の歌今号は、講座関連のニュースを中心にお届けします。寒さに負けず、コロナに打ち勝ち、良い年をお迎えください。



## 2022年 4月～11月 連絡協議会 講座開催状況報告

## 基礎講座

- 4・6月 傾聴ボランティア木曾 (2ページに講座の様子を紹介しています)
- 5・7月 小布施町傾聴ボランティアグループ ゆっ栗の会
- 8・9月 白馬町社協(白聴の会 スマイル電話)

## おさらい講座

小海町傾聴ボランティアの会(小海町)	11月
傾聴ボランティア「心友」(駒ヶ根市)	2023年3月予定
傾聴ボランティア伊那(伊那市)	2023年3月予定
傾聴やまぼうし(富士見町) + 傾聴のぞみ(原村)	2023年3月予定

## おさらい講座(新講座)のご案内 No.2

**おさらい講座** そうだったのか傾聴!～楽しく復習、実りある活動へ～  
 傾聴の基本を振り返り、事例にもとづく実践的な学びの講座

25号でご案内したおさらい講座は、2023年の予定を含めて4地区で開講又は開講予定です。小海町傾聴ボランティアの会で受講された方から、「自分の人との関わりのクセに改めて気づいた」「ロールプレイングはやはり大切」など傾聴ベテランの方々ならではの感想の他「グループの仲間とのつながりを深めることができた」などピアサポートについての感想もありました。コロナ第8波の中、しっかり感染予防対策をして開催して下さった会員の皆さんと小海町社協に感謝いたします。開講を予定されているグループも、会員同士の親睦と交流をかねて計画されているようです。コロナの収束が見えない中ではありますが、傾聴活動再開に向けてのウォーミングアップとして受講を検討されてはいかがでしょうか。

講座の内容と企画運営についての詳細は、会報野原の歌25号をご覧ください。

講座の問合せは下記まで

連絡協議会研修部事務局 三宅 秀明 TEL・FAX 0268-88-0173  
 Mail hikomyke@nifty.com

長野県傾聴ボランティア連絡協議会  
 代表 長谷川 昭 TEL FAX 0264-48-2133  
 携帯 09043981187  
 mail mr.kaeru77@ot.kiso.ne.jp  
 ☎ 397-0201 木曾郡王滝村 4100-13

広報担当 弓削淑子  
 TEL FAX 0266-74-1122  
 mail yugetora@po30.lcv.ne.jp  
 ☎ 391-0115 諏訪郡原村原山17217-2199



## 傾聴ボランティア基礎講座を実施しての感想

木曾町社会福祉協議会 蒲沼早百合



- ・講座の内容は非常に分かりやすかったです。傾聴についてのお話はもちろんですが、ボランティアをする上での注意点や心構えなどもお話いただきました。話を聴くということは、どんなボランティア活動を行う上でも欠かせない事なので、様々なボランティア活動に共通する基本的なコミュニケーションの姿勢についても学ぶ機会になりました。

また、一度のみの座学講座ではなく、施設体験を行った上で、まとめの講座があったので、施設体験で受講者が実際に経験して感じる事が出来た不安や、困った事、嬉しかった事等を共有する機会があったことがとても良かったと感じました。

- ・コロナ禍での開催という事で、不安もありましたが、長野県傾聴ボランティア連絡協議会研修部さんの方でも感染対策に関わるルール作りをしてくださったので、当会のルールと照らし合わせながら、安心して講座開催することが出来ました。
- ・傾聴ボランティア木曾との共催だったため、メンバーの皆さんが講座運営に積極的に関わってくださり、本当に助かりました。施設実習は受講者だけでなく、傾聴ボランティアの先輩であるメンバーの皆さんが引率してくださったので、安心してお任せすることが出来ました。先輩ボランティアさんと受講者をつながりができることで、受講者の方がその後安心して活動できる環境もできるように感じました。
- ・社協職員も講座に同席させていただき、『傾聴』について改めて学ぶ機会になりました。お話し相手の気持ちに寄り添いながらお話をお聴きする姿勢は、社協の仕事をする上でもとても重要な事なので、私たち職員自身も勉強させていただきました。

### 受講者からの感想

- ・先輩ボランティアの方には大変お世話になりました。実習前後にお話をする事が出来たので、気持ちが楽になり、安心して活動することが出来ました。
- ・自己開示をすることで、お話し相手の方も心を開いてくださり、スムーズに会話することが出来ました。
- ・臨機応変に聴く側も対応しなければならない事を学びました。構えて「聴く」のではなく、一緒にその会話を楽しむことが何よりも充実した時間を共有できることになるのだと感じました。



## “2年待った傾聴講座がやっと”

傾聴 みみずく

グループで2年前に計画した「スキルアップ講座」も、コロナ感染禍によっていつ開催できるのか先が見えませんでした。行政の危機管理室等への相談などにより、やっと講座開講にたどり着きました。11月28日、みみずくの会員30名は日本傾聴ボランティア協会鈴木絹英講師の明快な講義を5時間みっちり学びました。傾聴の意義、基本の再確認などです。特に基本の“傾聴に必要な技術（スキル）”の再確認では、自己流になりがち部分の良い刺激になりました。これからの実践の場を通してみんなで活かしていきます。